

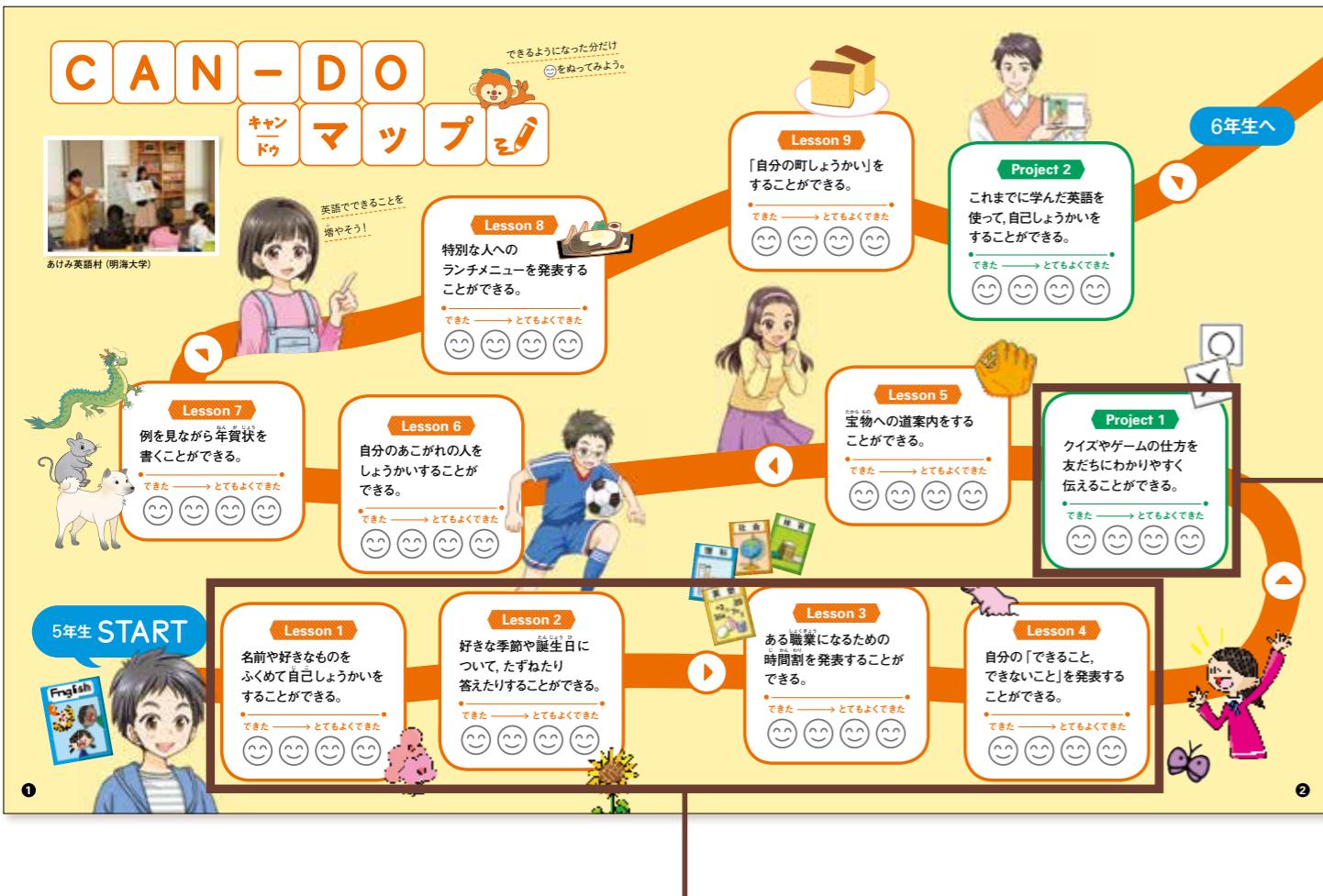
ステップを重ね、できることが増える教科書

知識・技能を1つずつ確実に身に付けるための、スパイラルと積み重ねによる教科書です。

「できるようになること」の1年間全体の見通し

自分の学習を見通せるCAN-DOマップ

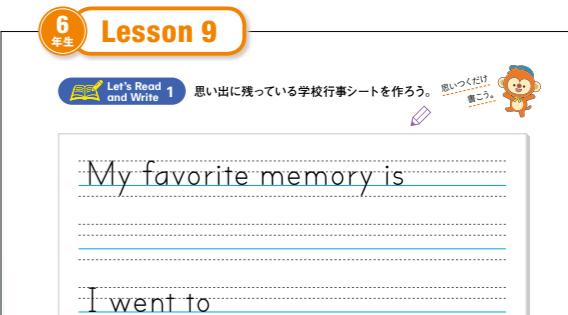
1年間の学習がはじまる前に、各学年巻頭のCAN-DOマップで学習の見通しが立てられます。



単元(Lesson)を越えたスパイラルな構成で英語力の確実な定着を

語彙や表現は単元を越えて、さまざまな活動の中でくり返し使うように工夫しています。たとえば、過去形の表現は「思い出」がテーマの2つの単元で扱います。

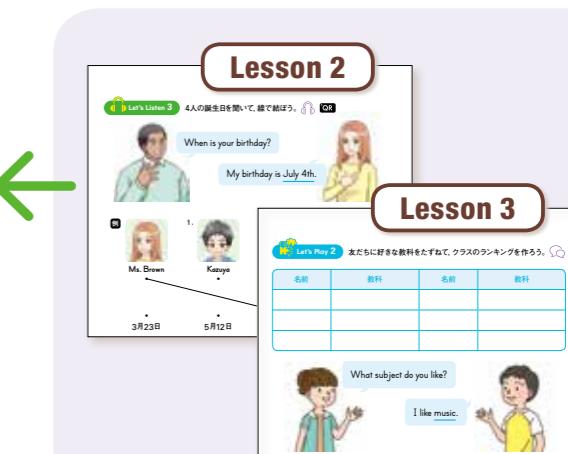
例



身に付けた知識や技能を活用するProject

Projectでは、それまでの学習を復習・活用しながら、ある目的に向かって活動をしていくプロジェクト的な学習をすることができます。

例



Projectまでの学習の例

基礎を確実に身につける、「くり返し」の単元構成

語彙や重要な表現はくり返しの学習で定着を促し、まとめの活動で仕上げを行います。基礎的な学習をていねいに学ぶことを大切にしています。

くり返しの学習で基礎・基本を定着させる

まとめの活動で学んだことを確実に身に付ける

単元のはじまりでゴールの見通しを

1枚の絵で単元の全体像を示し、学習のはじめに**単元の見通し**をもつことができます。

ゴールを意識しながら学習を進めます。

単元の目標となるモデルの英語を聞きます。
導入と同時に単元の見通しをもてる内容に設定しています。



その単元で目標とする活動が一目でわかります。

主体的・対話的なまとめの活動

Let's Try で単元での学習をまとめ、「**ふりかえりをしよう**」で学習の到達点を知り、次につなげます。

Let's Try には単元で学んだことを活用しながら、**まとめ**となるコミュニケーション活動を設定しています。

「**ふりかえりをしよう**」で自己評価を行います。
教科書冒頭の**CAN-DO リスト**と対応し、児童の何ができるようになるべきかという意識を保ちます。

さまざまな活動を通してのくり返し学習

新しい語彙や表現は、**Let's Listen** や **Let's Play** などさまざまな活動を通して身に付けます。

まず英語のインプットを中心に、児童の実態にあったさまざまな活動に取り組みます。



一年間のまとめに使える、学習内容のリスト

一年間の学習のあとに、何ができるようになったのかを児童が確認できるリストです。活動に対応する**4技能**も一目でわかるため、指導を計画したり、ふり返る際にも役立ちます。

活動の単位で学習をふり返ることができます。

Let's Play 1	考へて書けましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Play 2	①カードをならべられましたか。 ②カードをさがせましたか。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
Let's Play 3	大文字をさがせましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Read and Write	①大文字を書けましたか。 ②自分の名前を書けましたか。 ③名刺カードを作りましたか。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
Let's Play 4	手をあげられましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Listen 1	①カードを取れましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Listen 2	英語を聞いてわかりましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Listen 3	気に入ったことを話せましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Listen 4	好きな季節をたずねられましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Listen 5	英語を聞いてわかりましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Listen 6	誕生日をたずねられましたか。	<input type="checkbox"/>
Let's Try	名刺交換ができましたか。 ①誕生日を表に書けましたか。 ②誕生日ポスターを作りましたか。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>